

## 西濃農林事務所の普及活動状況

平成26年12月22日現在

### 今月の重点活動

#### ■担い手育成 **地元農業高校生が農業への興味・関心をアップ**

##### ～大垣養老高校生の管内農業現地巡回学習会の開催～

12月5日、大垣養老高校生を対象とした、地元の農業者を訪問する現地巡回学習会を開催した。生徒の参加は38名の1,2年生であり、引率の先生など関係者を含めて45名での巡回となった。当日の学習先は、海津市、神戸町の米や野菜、畜産などの6農家であり、訪問先農家では、経営者から直接に大規模経営や先進的な経営の説明を受け、それぞれの農業経営への理解を深めることができた。



【施設野菜農家の話を聞く高校生】

### 活力ある新産地づくり

#### ■ブロッコリー **順調なブロッコリー出荷及び食農体験の実施**

今年度は年内収穫中心の品種構成に変更したことに加え、11月末まで温暖な気候が続いたことにより、11月末までの出荷量は22,141ケース(前年比247%)となっている。12月中旬からの寒波で生育は停滞しているが、出荷間近の株は多数あるため市場ニーズの高いクリスマスシーズンに向けて出荷量を増やしていく見込みである。

12月19日に、JAにしみのブロッコリー生産協議会大垣部会の食農活動として、青墓小学校3年生80人を対象に、ブロッコリー収穫体験が開催された。

前日の降雪により雪の中での収穫となったが、子供たちは大きなブロッコリーを探して歓声をあげていた。収穫後に、JA青墓支店女性部によるブロッコリースープなどの試食があり冷えた体を温めた。農業普及課から、ブロッコリーの生育過程、栄養、料理レシピを記載した資料を配布し説明を行った。



【ブロッコリー収穫を行う小学生】

### 売れる農畜産物づくり

#### ■小麦 **小麦の安定生産の推進**

西濃管内の平成27年産小麦の計画面積は1,330haで、は種作業は10月18日垂井の「イワイノダイチ」より始まり、比較的好天に恵まれた11月には種を進め、11月中におおむね終了した。一部で未だは種できていないほ場もあるが、大豆作付後ほ場等における12月の雨や雪による遅れである。また、この低温と降水量が多い影響で11月中旬以降には種した小麦で出芽、初期生育が少し遅れている。

「さとのそら」の拡大実証圃は全ての地区に計14カ所、60haが設置された。農業普及課とJAにしみの営農経済センターは市町ごとに「農林61号」、「さとのそら」、「イワイノダイチ」等の調査ほ場を設置し、安定生産技術の確立にむけ生育調査を行っている。

## ■ なす **反省会の開催**

なす部会の栽培反省会が12月11日に行われた。H26年産は、前半は天候も良く出荷量も多かったが、8月以降の低温・低日照および9月以降の相次ぐ台風により出荷が早く切り上がってしまった。総量としては新規就農者が1名増えたことにより昨年以上ではあったが、反収で見ると約2割減となってしまった。農業普及課より土壌病害対策や肥培管理の徹底について呼びかけを行った。

## ■ いちご **就農支援会議の開催**

J A全農岐阜のいちごインキュベート研修生でH27年度新規就農予定者（大垣市）の就農支援会議が12月5日に開催された。農地の確保に目途がついたことにより、青年等就農計画の内容、補助事業の活用等について本人・大垣市・J Aとともに検討を行った。1月下旬の提出に向けて再度1月に就農支援会議を開催する予定である。

## ■ 白ねぎ **出荷説明会の開催**

不破野菜部会で、12月2日に白ねぎ出荷説明会が開催された。市場担当者から、部会員が持ち寄った白ねぎを用いて出荷調整手順及び選別基準について説明がなされた。農業普及課からは栽培履歴の記帳徹底及び雪対策等について説明を行った。白ねぎは今年から初めて生産する品目であるため、生産者は熱心に聞き入り質疑応答がされた。



[出荷説明会の様子]

## 多様な担い手の育成・確保

### ■ 担い手育成 **集落営農の法人化推進に向けて（集落営農システムサポート事業）**

11月28日、岐阜県農業会議担当者とともに関ヶ原町山中営農組合長と意見交換を行った。法人化の際の農業機械等の処分方法、法人の組合員資格、出資金等について検討を行った。

また、12月9日には、税理士を交え、組合長、役員とともに、法人となった場合の経理について、経営の考え方等について検討を行った。

組合は1月の中旬に向けて組合員との話し合いを再度計画する予定であり、農業普及課も開催に際して内容、方法について支援する。

## 戦略的な流通・販売

### ■ 西南濃地区農業婦人クラブ **明日を拓く農業・女性フォーラムの開催**

11月27日、アグリ・エンジョイネット岐阜主催の「第22回明日を拓く農業・女性フォーラム」が西濃総合庁舎にて実施された。

今年度は、西南濃地区が開催地区であり、婦人クラブの活動発表では、安八町農産物加工運営委員会の漬物部会、薬草部会、梅部会の各部会長がそれぞれの活動発表を行った。また、西南濃地域の活動紹介では、地域で加工活動に取り組んでいる3事業者から、それぞれ特色ある取り組みが紹介された。